

ひたち医療センター 広報誌



- 特集 当院小児科の診察室から
- トピックス 看護の日、永年勤続者表彰ほか
- 内科治療のご案内
- ポリファーマシーについて（薬剤科）
- 夏バテ予防と食事（栄養科）
- 造影CT・MRI 検査のご予約をおまちしています
- 当院投書箱より

◎小児科のご紹介

小児科は、水曜日は野口医師 それ以外の曜日は、馬場が担当しています。看護師さんは、各曜日 1 名勤務し、週前半と後半で交代しますが、主に 2 人のスタッフが担当、両名とも子育て経験豊富な方たちです。

対応疾患は、小児疾患ですが、心理・精神・耳鼻科疾病には対応しておりません。今年 5 月上旬までは、救急入口すぐ前のパーキングで検査させていただいておりましたが、コロナの扱いが法律により変わりましたので、現在は 20・21 番の小児科外来で診察・検査させていただいております。

今回は、最近小児科で保護者のみなさんから受ける質問や話題になっていること、知っておいていただきたいことなどについてご案内します。



小児科診察室

◎コロナ関連から

6 月以降、コロナの集団発生が日立市の複数の中学校で報告されています。そこで、改めて、ワクチン接種を推進すべきなのか？ 効果は？ 副作用は？ 等についてどうしたらいいのかというご質問が保護者から頂いています。それに対する答えが、あくまで一つの参考指標とは思われますが、日本小児科学会のホームページに今年 6 月 9 日付で掲載されています。結論から言いますと、**日本小児科学会は、生後 6 カ月～17 歳のすべての小児に新型コロナワクチン接種を推奨しています。**

小児に対するコロナワクチン接種には、発症予防や重症化予防効果があることが複数の報告で確認されています。またワクチン有害事象は国内では副反応疑い報告としてモニタリングされ、重大な事象は慎重に検討されていますが、**現在までのところ接種推奨に影響を与える重篤な副反応はないと判断されています。**(日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会 2023.6 追補より)

◎食品による窒息から子どもを守るために？

最近 保育園での果物摂取時の事故が報道されていますが、食品による窒息についても、小児科学会はきめ細やかにHPに掲載していますので、その一部を紹介します。

丸くつるっとしているもの	粘着性が高く、唾液を吸収して飲み込みづらいもの	固く 噛み切りにくいもの
表面が滑らかなために口の中に保持できず、ふとした時に飲み込んでしまって喉につまり、窒息します	噛まずに詰め込んで食べてしまうと、大きな塊のまま喉に入って窒息します。	
ブドウ さくらんぼ プチトマト うずらの卵 球形のチーズ こんにゃく カップゼリー グミ あめ ソーセージ ピーナツなどの豆類	もち パン 焼き芋 せんべい	えび 貝：2 歳以上に りんご いか 肉類 生のにんじん 棒状セロリ 水菜
対策 ・1/4 カットにする ・ソーセージは縦半分にする ・こんにゃくは禁止	対策 ・のどを潤してから食べる ・一口量を守り、詰め込まない ・よくかむ	対策 ・小さくする ・水菜は、1-1.5cm に切る ・イカは過熱で固くなるので注意

<小児科学会 こどもの生活環境改善委員会資料より>

◎吸入補助具について

気管支炎、喘息の治療で使用する吸入エアロゾルをより有効に吸入するための吸入補助具についてお話しします。

スプレー式のエアロゾルは、薬剤を噴出するボタンを押すとすぐにエアロゾルがでますから、そのタイミングに合わせて同時に吸入することが肝要です。乳幼児や高齢の方には、そのようなタイミング合わせ吸入はできません。そこで、**図1の吸入補助具（スパーサー）**を使用しますと**ゆっくり効率よく吸入可能です。**

《ポイント》

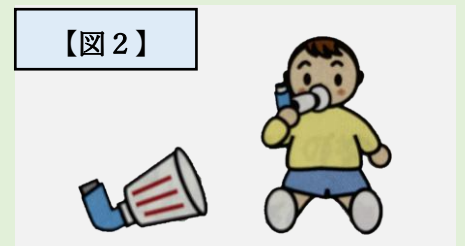
筒の中にエアロゾルを指示された吸入分だけプッシュしておき、そのあと筒内のエアロゾルをゆっくり数回かけて吸ったり吐いたりして、吸入すれば、より一層気道（肺胞）の奥に行き渡らせることができ、効果大となります。

吸入補助具はネットで3~4千円で購入可能ですが、購入されなくても、紙を巻いて（直径3-4cm 長さ10cmくらい）筒を作ったり、図2のように紙コップを使用しても代用可能です。



【図1】

吸入補助具



【図2】

紙コップを使用

<日本小児アレルギー学会 HP より引用>

◎乳児期の下痢について

乳児期の下痢は、**長引くことがあります。**当初はウイルスや細菌が原因のことが多いですが、その後これらの病原菌がほぼ排泄された後も、2-3週間下痢が持続することがよくあります。それは、**二次性に乳糖に対して反応を引き起こしている**からだといわれています。この状態に対して、乳糖分解するミルラクト（ガランターゼ）をミルクに混ぜてもらおうべく処方していますが、ミルラクトが最近入手できなくなっています。そこで、**乳糖の入っていないミルク：ノンラクト**ミルクを病院のすぐそばの薬局に置いてもらっています。通常のミルクより少し高めですが、これを哺乳しますとかなり早く下痢がよくなります。このミルクは下痢改善後も哺乳可能です。但し、ミルクアレルギー（蛋白に対する反応）には使用できません。（母乳には、乳糖が含まれていませんので、母乳の赤ちゃんには必要ありません。）

◎手足口病、ヘルパンギーナなど

今、**手足口病 ヘルパンギーナ**が大流行していますが、これらの原因ウイルスであるコクサッキーやエコーウイルスの**診断キットはない**です。あくまでも見た目での判断となります。**手のひらや足や臀部に赤いぶつぶつ**ができますから、通常の典型例は、誰でも判断可能です。保育園の先生もたくさんみられていますので保育園で判断されることが多いようです。



ヘルパンギーナの咽頭所見 典型例



小児科外来

一方、アデノウイルス 溶連菌は診断キットがありますので、小児科での診断となります。また、RS ウイルス診断キットは、生後11カ月までの赤ちゃんには保険適用があります。RS ウイルスと類似の症状を来すヒトメタニューモウイルスもキットがあり、6歳未満児には保険適用があります。

以上、最近の状況からご案内しましたが、疑問点がございましたらメモしていただき、診察時にまとめて聞いてくださると助かります。

トピックス 「萬春園」新施設で
開所式が行なわれました

5月30日、特別養護老人ホーム日立市萬春園ばんしゅんえんの新施設開所式に当院の加藤貴史病院長が出席し、小川春樹日立市長とともにテープカットを行いました。



トピックス 令和5年度日立市防災協会
優良事業所として表彰されました

日立市防災協会長から令和5年度の優良事業所として当院が表彰を受けました。表彰式は、5月29日に日立市消防本部にて行われ、雨谷光雄施設課長が代表して受賞しました。



トピックス 永年勤続者表彰 おめでとうございます

当院職員の永年勤続者表彰が5月8日に行われ、加藤病院長から、これまでの勤労を讃え、13名の職員に感謝状が贈られました。これからも患者さん第一でよろしくお願いします。



~~~~ 永年勤続のみなさん ~~~~

- <40年勤続> 関紀美子さん
- <35年勤続> 高橋祐子さん 緑川恵子さん
- <30年勤続> 祖慶里美さん
- <25年勤続> 菊池由起子さん
- <20年勤続> 井上ひろみさん 瀬谷洋平さん  
吉川優子さん 大澤歩さん
- <10年勤続> 大田翔也さん 本多永花さん  
薄由美子さん 林沙耶さん

~~~ 看護の日のイベントとして各部署ポスター展示を行いました ~~~

2023年度看護の日のテーマ「いのちを守るプロとして、笑顔」として、「看護週間」5月8日~5月31日を開催しました。

新型コロナ感染対策を考慮し、健康相談やふれあい看護、音楽などのイベントは自粛し、各部署ポスター展示を行いました。今年で3年目になるポスター展示には、患者・家族の皆さんが見に来てくださり、「楽しみにしていた」「年々良い作品になっている」、当院の保育園児のかわいらしい作品など閲覧に「癒される」など感想が聞かれ大変好評でした。ポスターの一部を紹介します。

サービス向上委員会 看護部 須藤礼子



夏バテ予防と食事 ～栄養科より～

「夏バテ」で食欲がない時には、レモン、梅干し、お酢など酸味のあるものを食事に利用すると食欲が増進します。また、酸味は疲労回復にも役立ちます。酸味を上手に利用し、夏バテを予防しましょう。

今年の土用丑の日は、7月30日です。ウナギには、疲労回復に効果があるとされているビタミンB群が豊富に含まれています。土用の丑の日にウナギを食べる習慣は、江戸時代に普及したようです。今回は、当院の献立から、「メバルの南蛮漬け」を紹介します。ぜひお試しください。



当院の献立紹介 ～メバルの南蛮漬け～



*メバルの南蛮漬け *かにサラダ

-材料(2人分).....
- メバル... 2切(1切 80g) 人参(細切り)...20g
 - 片栗粉...適宜 玉葱...1/3個(80g)
 - サラダ油...揚げ油 万能ねぎ...適宜
- A
- 醤油...小さじ2
 - 穀物酢...小さじ2
 - かつお出汁...大さじ1と1/3(20ml)
 - 七味唐辛子...適宜

〈1人分栄養価〉 エネルギー219kcal
たんぱく質 13.2g 食塩相当量 0.9g

〈作り方〉

- ①玉葱は薄くスライス、人参はせん切り、万能ねぎは小口切りにする。
- ②混ぜ合わせたAの調味料をひと煮立ちさせて、冷ます。
- ③①の玉葱と人参をAと合わせ、20～30分漬けて味をなじませる。
- ④メバル全体に片栗粉をまぶして、180℃の油で5分程度揚げる。
- ⑤揚げたメバルを熱いうちに10分～20分程度③に漬けておき、盛付けをし、最後に万能ねぎを上から散らして出来上がり。

～～～患者・家族さん・地域みなさんに寄り添った医療を目指して～～～

医療安全管理室

医療安全は、基本順守の積み重ね!

検査科

- 生理機能検査**
超音波検査
血圧脈波検査
肺機能検査
心電図検査
- 検体採取**
採血業務
鼻腔採取
咽頭ぬぐい液採取
- 検体検査**
生化学・免疫検査
血液・凝固検査
尿・便検査
体腔液検査
細菌検査
輸血検査

A4病棟

消化器内科・外科病棟・泌尿器病棟です。検査や手術の多い病棟ですが、医師、看護師とともに協力し日々笑顔で活動しています。また患者様に寄り添った看護を目指し取り組みんでいます。

泌尿器科

地域医療連携室

- 自宅
- 退院後の生活
- 医療費の支払
- 医療機関
- 通院入院
- 他院受診
- 福祉制度
- 施設入所
- 市役所
- 公的医療制度
- 介護保険
- 介護サービス事業所

医療や介護に関するご不安・ご不明なことお気軽にご相談下さい

内科治療のご案内

◎虚血性心疾患

当院では、狭心症や急性心筋梗塞などの虚血性心疾患に対して心臓カテーテル検査および治療を積極的に行っております。胸痛をふくむ胸部症状や心電図異常、または血液検査値で気になる所見を認められた患者さんをご紹介いただけたら幸いです。

高齢者や糖尿病患者では心筋虚血が発症しても症状が出ないことがありますので、無症状であっても検査所見に異常がありましたら遠慮なく紹介ください。心筋虚血患者さんの中には冠動脈に石灰化病変を有している治療難易度の高い症例もいますが、当院では石灰化病変を切削するデバイス (Rotablator や Diamondback) を用意しており、難易度の高い症例にも十分に対応が可能でありこれまでも良好な成績を収めております。



心臓カテーテル治療の様子

◎下肢閉塞性動脈硬化疾患

下肢閉塞性動脈硬化症・重症下肢虚血に対しても積極的にカテーテル治療を行っており、重症下肢虚血の患者様は形成外科医と連携してフットケアも行っております。地域社会では車移動が多く歩行機会が少ないことから、発見が遅れて病状が進行し重症化してから見つかることが多いのが実情です。

早期に発見し、適切な内服加療やカテーテル治療を行うことで症状の解除や下肢切断を回避できることから、少しでも疑われる患者さんは遠慮なくご紹介いただければ幸いです。(図1)

◎その他内科対応疾患

当院では、心疾患や下肢虚血などの動脈硬化疾患以外にも生活習慣病をはじめ可能な範囲で呼吸器疾患、神経疾患などの常勤医師の非専門領域の疾患にも対応させていただいております。非専門領域の疾患では昭和大学病院から派遣されて来ていただいている非常勤の各専門医と協力しながら初期対応を行い、必要に応じて専門病院に紹介・転院などもさせていただいております。救急患者様含め、お困りの際はぜひご紹介いただければ幸いです。下記に2022年内科入院患者内訳をお示しします(図2:DPCより作成)。

(図2) 2022年 内科入院患者の内訳

| 疾患名 | 人 | 疾患名 | 人 | 疾患名 | 人 |
|----------|-----|-------------|----|-------------------|-------|
| 狭心症 | 282 | 敗血症 | 10 | 脳梗塞 | 3 |
| 心不全 | 128 | 糖尿病教育入院 | 9 | 脳梗塞 | 2 |
| 市中肺炎 | 112 | 肺塞栓 | 8 | 認知症 | 2 |
| 尿路感染症 | 84 | めまい | 8 | パーキンソン病 | 2 |
| 頻脈性不整脈 | 68 | 糖尿病ケトアシドーシス | 7 | ウイルス性胃腸炎 | 2 |
| 誤嚥性肺炎 | 47 | 睡眠時無呼吸症候群 | 6 | 褥瘡感染 | 2 |
| 急性心筋梗塞 | 29 | 熱中症 | 6 | 心膜炎 | 2 |
| 閉塞性動脈硬化症 | 24 | 急性腎不全 | 6 | 気胸 | 2 |
| 脱水 | 18 | 蜂窩織炎 | 5 | その他 | 10 |
| 徐脈性不整脈 | 17 | 喘息 | 4 | | |
| 電解質異常 | 12 | 肺がん | 4 | | |
| 貧血 | 12 | ウイルス感染症 | 3 | | |
| | | | | 2022年入院患者数 | 当院データ |

(図1)

| | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 |
|----------------|------|------|------|------|
| 心臓カテーテル検査(CAG) | 396 | 213 | 237 | 227 |
| 心臓カテーテル治療(PCI) | 124 | 115 | 144 | 122 |
| 下肢血管形成術(EVT) | 12 | 13 | 12 | 17 |

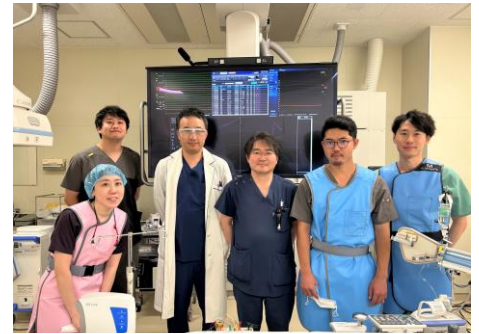
当院データ

◎充実した診療体制

当院の内科では急性心筋梗塞や心不全といった循環器疾患のほかにも、肺炎・尿路感染症といった common disease 含め幅広く診療させていただいています。

内科医師は常勤医師6名に加え、非常勤医師8名と数年前に比べて、2倍に増員できたことでより多くの患者さんに対応可能な診療体制をとることができるようになりました。常勤医師は循環器内科専門医、総合内科専門医、心臓超音波専門医、カテーテル認定医のほかにも、非常勤医師としては不整脈・呼吸器・糖尿病内科専門医など各領域のエキスパートにも来ていただいております。良質で安全な医療を提供できるようになっていると考えています。

(筆：内科医長 佐藤俊弥)



内科常勤医師



薬剤科から ～ポリファーマシーについて～

◎ポリファーマシーって？

生活習慣病や老年症候群などにより、年齢が進むにつれて服用する薬が増える傾向があります。服用する薬が増えると、薬を代謝する肝臓や腎臓に負荷がかかったり、相互作用（飲み合せ）のリスクが高まったりします。服用している薬が6種類以上になると、副作用の発現率が高くなるという報告もあります。また、薬が増えると飲み間違いや飲み忘れのリスクも高まります。

このように、多くの薬を服用していることで有害な事象が起こっている状態をポリファーマシーといいます。

◎複数の医療機関を受診することで・・・

疾患ごとに複数の医療機関を受診することで、同じ効果の薬が重複して処方されたり、効果を打ち消し合う薬が処方されたりすることもあります。薬の副作用に対して新たな薬が処方され、それで生じた有害事象に対してさらに薬が処方されるとい、処方カスケードという問題も起こっています。

◎当院のポリファーマシー対策

当院では、入院される患者さんのポリファーマシー対策として、薬剤総合評価調整を行っていま

す。これは、薬剤師が、患者さんがお持ちになった薬やお薬手帳を確認して、服用されている薬を把握し、処方の評価を行います。その上で、薬物有害事象や服薬上の問題の有無など医師や看護師などと多職種でカンファレンスを実施し、必要に応じて、用法用量の変更や副作用の疑われる薬の中止など処方の見直しを行います。処方に変更になった際には、患者さんに説明するとともに、変更の効果を再度多職種で評価を行い診療につなげていきます。

◎患者さんにより良い薬物治療の提供を！

薬が多いことが必ずしも問題ということではありません。必要があって処方されている薬を減らしてしまえば、本来の治療効果を得られずかえって症状を悪化させかねないことから、減薬は慎重に行う必要があります。必要性の低い薬はないか、飲み合せの問題はないか、有害事象の原因となっている薬はないか等、総合的に判断して、患者さんにより良い薬物治療が提供できるよう努めてまいります。



造影 CT・MRI 検査のご予約をお待ちしております

当院では、患者さんの診療にお役立てできるよう造影 CT・MRI 検査の依頼を地域の先生方からお受けしております。令和 4 年度は MRI 検査のご依頼を 207 件いただきました。

患者さんが安全に検査を受けていただくために、予約の際に確認させていただく事項がございますので予約については、放射線科直通電話

0294-37-0633 までお申し込みください。



MRI



～当院投書箱より～ 一部抜粋（2023 年 6 月）

<ご意見・ご要望>

入院生活を通して、色々なことに気が付きました。廊下越しに聞こえる口ずさむ歌声や、年配の患者さんの理不尽な様子など、いずれ自分も通る道であろうと重ね合わせました。そのような中でも、看護師・看護助手の方々の対応に感動し、改めて病院関係者の皆様の「患者ファースト」の想いに感動した次第です。（匿名）

<回答>

初めての入院生活と思われませんが、入院中身近に感じたことをそのまま感想としていただき、またお褒めの言葉をいただきましたありがとうございます。患者さんにはいろいろな方がおりますが、職員一同同じように接し対応していくことを常日頃から心掛けております。更に今後もより良い医療が提供できるよう精進してまいります。ありがとうございました。

（病院長）



医療機関の皆様へ ～紹介患者の予約について～

医療機関からの、患者さん紹介の際には、地域医療連携室をご活用ください。紹介にあたっては、**紹介患者予約申込書、診療情報提供書**を地域医療連携室へ **FAX(0294-37-0847)**送信してください。申込書は、当院ホームページまたは下の QR コードからダウンロードしてご利用ください。なお、緊急を要する患者さんの場合は、救急外来（代表電話 0294-36-2551）へお電話ください。

| | | | |
|---------|--------------|--------------------------|--------------|
| TEL（直通） | 0294-37-0609 | FAX（直通） | 0294-37-0847 |
| 受付時間 | 月曜日～金曜日 | 午前 8 時 30 分～午後 4 時 00 分 | |
| | 土曜日 | 午前 8 時 30 分～午前 11 時 00 分 | |



紹介患者申込書



〒316-8533 茨城県日立市鮎川町 2-8-16
TEL.0294-36-2551 FAX.0294-35-7816
URL <https://www.hitachi-mch.or.jp>
発行：地域医療連携室・医療情報室